【過去最大のモビリティ展示となる CES 2027 速報】

CES が示すモビリティ産業の転換点

－自動運転・SDV・AI エージェント・フィジカル AI が変えるクルマと産業の未来
－日本の部品・素材・電機メーカーへの影響

－講　師－　　**イノベーションアナリスト　アンディ　近藤**　氏

日　時　　**2027 年１月２０日（水）**　午前１０時～１２時
受講方法　会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信（２週間、何度でもご視聴可）
会　場　　SSK セミナールーム　東京都港区西新橋２－６－２　ザイマックス西新橋ビル4F

［重点講義内容］

※CES 2027（2027 年１月、米国ラスベガス）の現地取材にもとづく内容です。現地で確認した内容に合わせて更新します。

2027 年 1 月 6 日から 9 日まで、米国ラスベガスで世界最大級のテクノロジー見本市 CES 2027 が開かれます。主催者の CTA は、車両技術の展示が 35 万平方フィートを超え、CES 史上最大のモビリティ展示になると発表しています。基調講演には、ロボタクシーの Waymo と、Jeep やプジョーを擁する Stellantis のトップが立ちます。

CES に出てきたものは、1～2 年後に世の中の当たり前になってきた経緯があります。2024 年は AI が文章を書く未来の展示、2025 年は NVIDIA が打ち出した「フィジカル AI」、2026 年は仮想空間で鍛えた AI を現実の車やロボットで動かす流れ。2027 年の会場は、何の起点になるのでしょうか。

本セミナーでは、2008 年から CES の会場を歩いてきたイノベーションアナリストが、会期直後の現地取材をもとに報告します。クルマを選ぶ基準は、走りや内装から、電気代・AI との対話・運転のうまさへ移るのか。ロボタクシーは各社の違いがどこで出るのか。フィジカル AI はどこまで製品になったのか。会場で撮った写真と現物の観察をもとに、日本の自動車・部品・素材・電機メーカーにとっての意味まで踏み込んで解説します。

１．CES 2027 で何が起きたか　－過去最大のモビリティ展示と、AI が主役の会場
（1）前回は出展 4,100 社超。2027 年の会場を歩いて見たもの、CES 2026 から変わったこと
（2）主催者が「過去最大」とうたうモビリティ展示：自動車メーカー、部品、自動運転、重機まで
（3）2024 年は文章を書く AI、2025 年はフィジカル AI、2026 年は仮想空間で鍛える AI。2027 年は何の起点か
（4）基調講演の顔ぶれから読む、2027 年の重心

２．2030 年代のクルマは何で選ばれるのか　－電気代・AI との対話・運転のうまさ
（1）走り・衝突安全・内装が差になりにくくなる時代
（2）クルマが家の電気を支える：「エネルギー資産としての EV」と双方向充電
（3）話が通じる相棒へ：車内の AI エージェントと、AI に任せる範囲
（4）運転のうまさが価値になる：AI で動く運転支援と、変わり始める安全の価値

３．自動運転の社会実装　－ロボタクシーと物流の自動運転はどこまで来たか
（1）ハンドルのない無人の車が、ラスベガスの街をすでに走っている
（2）Waymo 共同 CEO の基調講演：安全、海外展開、車両の進化
（3）ロボタクシーの事業モデル：各社の違いはどこで出るのか
（4）物流・農業・建機の自動化：IAA Transportation 2026 で見た「電動の物流網の上に自動化が乗る」流れとの比較

４．SDV とクルマの作り方の変化　－完成車メーカーと中国勢の現在地
（1）Stellantis の基調講演が示す「新しい車両とソフトウェアの基盤」
（2）中央の計算機、ステアバイワイヤ：ソフトウェアで価値が決まるクルマの中身
（3）中国勢は CES で何を見せたか：自動車、家電、ロボットに広がる存在感
（4）IAA Mobility、IAA Transportation、Hannover Messe との比較で読む各社の位置取り

５．フィジカル AI はどこまで製品になったか　－ロボット・家電・データセンター
（1）NVIDIA と CES Foundry：AI と量子の専用会場は 3 日間に拡大
（2）見せるためのロボットと、働くためのロボット：家の中で働くロボットの現在地
（3）家電が AI エージェントになる：料理・空調・洗濯・エネルギーを分担する AI
（4）メガネ型の AI と、AI を支えるデータセンターの電力・冷却・光

６．日本企業にとっての意味　－部品・素材・電機に広がる事業機会
（1）日本勢はどこにいたか：完成車メーカー、部品メーカー、Japan パビリオン
（2）ロボットの関節、データセンターの放熱：部品と技術の需要はどこへ動くか
（3）日本の中だけでは見えない評価軸：1～2 年後に自社事業へ影響する変化の読み方
（4）2027 年の動きを、自社の事業計画にどう取り込むか

７．質疑応答／名刺交換

ＰＲＯＦＩＬＥ　アンディ　近藤（あんでぃ　こんどう）氏

CES を 2008 年から現地で見続け、Hannover Messe・IAA Mobility・IAA Transportation など世界の主要展示会を同じ目で定点観測している。電子材料メーカーの欧州法人社長として欧州の車載電装事業を開拓した経験を持ち、欧州の自動車産業を「取材する側」と「商売する側」の両方から知る。技術の進化が産業と経営に何をもたらすかを、10 年にわたるセミナー事業で登壇企業 50 社以上・のべ 1 万人超（オンライン含む）に届けてきた。オーストリア大使館商務部（Advantage Austria Tokyo）シニアコンサルタント、German Accelerator メンター・審査員。
YouTube「Andy Kondo – Innovation Analyst」ほかで発信中。
https://www.google.com/url?q=http://andykondo.jp&source=gmail&ust=1795590524477000&sa=E

●受　講　料　各受講方法　1名につき　34，540円（税込）
同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降　27，500円(税込)
※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11，000円（税込）で承ります。

●お申込方法　二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。
折り返し受講証、請求書、会場地図（会場受講のみ）をメール（PDF)にてお送り致します。
お申込み後、3 営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。
（セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参下さい）
※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、**「開催1週間前まで」**にお申し出下さい。
その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。

●お支払方法　請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。（遅れる場合はご相談下さい）

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信下さい。

■ライブ配信について
＜1＞Zoom にてライブ配信致します。
＜2＞お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までにお送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加下さい。

■アーカイブ配信について
＜1＞開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。
＜2＞お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用URLをお送り致します。
＜3＞動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

1月20日（水）　「CES が示すモビリティ産業の転換点」			申込日　月　日
貴 社 名			
所 在 地	〒　○印をお付けください（ご自宅 ・ お勤め先）		
いずれかの□に必ず✔をお入れ下さい。（アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。）			
□ 会場受講	□ ライブ配信	□ アーカイブ配信	
氏 名（フリカナ）		所属部署・役職	
ＴＥＬ	（　　）　－	ＦＡＸ	（　　）　－
Ｅ－mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。		
いずれかの□に必ず✔をお入れ下さい。（アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。）			
□ 会場受講	□ ライブ配信	□ アーカイブ配信	
氏 名（フリカナ）		所属部署・役職	
ＴＥＬ	（　　）　－	ＦＡＸ	（　　）　－
Ｅ－mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。		

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	

●E-mail アドレス登録受付＆ご紹介キャンペーン実施中〔Amazon ギフト券（500円）を進呈いたします〕
□セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✔を入れて下さい。
※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。
※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい！ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券（500円）を進呈させていただきます。
※上記お申込フォームに、ご登録情報（貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職・メールアドレス）をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓

■主催（お申込み・お問い合せ先）　株式会社　新社会システム総合研究所
お申込み受付 FAX ０３－５５３２－８８５１
〒105-0003　東京都港区西新橋2－6－2　ザイマックス西新橋ビル4階
Tel:03-5532-8850／E-mail：info@ssk21.co.jp／URL：https://www.ssk21.co.jp
※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。　２７０１９－V